

2026年度 博物館実習の受け入れについて

日本民藝館では、2026年度の博物館実習を下記の要項で実施します。

1. 対象者及び受け入れ条件

- ・ 大学もしくは大学院に在学中であり、学芸員資格取得に必要な単位のうち博物館実習以外の単位を2026年度中に取得見込みの者。
- ・ 実習の全期間に出席可能な者。
- ・ 当館の趣旨や活動に関心を持ち、なおかつ当館での実習を強く希望する者。
- ・ ひとつの大学からの受け入れは原則1名とし、特定の大学との提携枠は設けません。

2. 実習場所 : 日本民藝館本館及び西館

3. 実習期間と実習内容

- ・ 実習期間は10日間とし、前期実習（講義3日間）と後期実習（実務実習7日間）からなります。
- ・ 実習時間は、基本的には9:30から17:30まで（昼食休憩あり）となります。
- ・ 本年度の実習スケジュールは、以下の様に予定しております。なお、日程や内容に変更が生じる場合があります。

- ① 事前ガイダンス（全員参加） 5月16日(土) 14:00から
- ② 前期実習（全員参加による3日間の講義） 5月20日(水)～22日(金)
- ③ 後期実習（3グループに分かれ展覧会準備等の7日間の実務実習）※(月)は休館
〔Aグループ〕 5月28日(木)～6月5日(金)
〔Bグループ〕 8月13日(木)～8月21日(金)
〔Cグループ〕 11月4日(水)～12月18日(金)

*各グループ上記期間より各実習生と相談の上7日間の参加日を決定します。

4. 実習費 : 10,000円

(実習に際し、諸経費として所属大学または実習生より申し受けます。)

5. 申し込み方法

下記の書類等を4月1日(水)から4月26日(日)までに、当館実習担当宛に郵送してください(4月26日必着)。

- ① 「履歴書」(市販のものでも可。写真貼り付けのこと)
- ② 「博物館実習受け入れ申込書」(別紙)
- ③ 「作文」(「民藝四十年」岩波文庫／「民藝とは何か」講談社学術文庫／「柳宗悦コレクション1～3」ちくま学芸文庫／以上より1冊を選び、読後の感想を2,000字程度にまとめてください。)

6. 選考方法について

- ▶ 博物館実習受け入れについては、**書類審査と面接**により決定いたします。
- ▶ 面接期間は4月28日(火)から5月2日(土)の間です。面接時間は20分程度を予定しています。

応募者は事前に当館に電話の上、面接の予約を必ず行ってください。

7. 選考結果通知とその後の手続き

- ・選考結果通知は、5月9日(土)までに応募者本人にメールにて通知いたします。
- ・受け入れの内定を受けた者は所属校で所定の手続きを行い、大学から当館館長宛に正式の実習依頼文書あるいは実習申請書(各大学の様式で可)を提出してください。

8. 注意事項

- ・申込者の専攻分野によって受け入れを制限することはありませんが、専攻に関わらず、民藝に関する諸分野について事前に学習しておいてください。
- ・申し込み後、取り消し等が生じた場合には、すみやかに博物館実習担当までご連絡ください。
- ・実習中の事故等については、基本的に当館では責任を負いません。事前ガイダンスの内容をふまえた上で、各自注意して実習を受けてください。
- ・応募書類の返却はいたしませんのでご了承ください。

[申し込み・問い合わせ先]

〒153-0041 東京都目黒区駒場 4-3-33

日本民藝館 博物館実習担当 宛

電話 03-3467-4527 FAX 03-3467-4537

博物館実習受け入れ申込書

氏名 (_____)

学校名 (学年) _____ (_____)

e-mail address _____

1. 学芸員資格取得を希望する理由

2. 日本民藝館で実習を希望する理由

3. 後期実習の日程に関する希望

下記の表に、第一希望には①を、第二希望には②を付けて下さい。

() [Aグループ] 5月28日(木)～6月5日(金)

() [Bグループ] 8月13日(木)～8月21日(金)

() [Cグループ] 11月4日(水)～12月18日(金)

() いずれのグループでも可